



ぱんだぐみだより

～1年をふりかえって～

令和3年2月26日(金)
奈良市立帯解こども園

少しずつ暖かくなってきて春の訪れを感じながら、子どもたちは毎日元気に過ごしています。早いもので、今年度も残り少なくなってきました。当初、学級懇談会でお伝えする予定であった今年1年の子どもたちの成長や遊びについて、このおたよりを通して伝えさせていただきます。



ごはん食べるの、だ～いすき！

スプーンを使って、自分で食べることが上手になってきた子どもたち。様々な食材の味を知り、食材の名前にも興味をもって「これ、なに？」と保育者に聞く姿が見られるようになりました。友達と一緒に食べることが嬉しいようで、顔を見合わせながら友達が食べている物と同じ物を食べる姿もあります。

言葉で伝えるって、おもしろい！

この1年で、たくさん言葉が出てくるようになりました。絵本を見ながら知っている物の名前を言ったり、おままごとをしながら保育者や友達との言葉のやりとりをしたりする姿があります。また、「かして」や「ちょうだい」、「〇〇したい」など自分のしてほしいことやしたいことなどの気持ちを言葉にする場面も見られるようになってきました。最近では、色に興味をもち始めている子どももあり、「あか」「あお」「きいろ」などと色の名前を言うことも楽しんでいきます。

衣服の着脱、上手になったよ！

最初はズボンのゴムの部分を自分で「よしよし」と持ち上げて履くことから始めた子どもたち。今では、自分で足を通したり、後ろに手を回してお尻の部分も自分で上げたりしながら、ズボンが自分で履けるようになってきました。園庭に出る時は、自分で靴下や靴を履いたり、帽子を被ったりしようとする姿もあります。

友達と一緒に遊ぶって楽しいね！

毎日一緒に過ごす中で、友達に興味が出てきた子どもたち。友達が遊んでいる様子を見たり、隣で同じようにしたりする姿が見られるようになりました。また、友達の名前を呼んだり、一緒に手を繋いで歩いたり、困っている友達がいたら助けてあげようとしていたりする姿もあります。友達と一緒に過ごすことを楽しいと感じ始めているようです。



こんな遊びをしたよ！

<くつもり遊び、見立て遊び>

秋頃から自分なりにイメージをもちながら、生活する中で体験したことを再現して遊ぶ姿が見られるようになりました。



<さんぽ>

保育者や友達と手を繋いで、帯解寺や八坂神社、園周辺などいろいろな場所に歩いて行きました。季節の移り変わりを、五感を使って感じる事ができました。



<からだを動かす遊び>

最初は歩くことが楽しくて、いろいろな場所に歩いて探索活動をしていた子どもたち。歩行が安定してくると、段差や坂道の上下り、築山登りにも挑戦するようになり、今ではかけっこをして走る姿もあります。ボールを蹴ったり、投げたりもできるようになりました。



<感触遊び>

1年を通して、氷や片栗粉、新聞紙、落ち葉など様々な感触を味わいながら遊びました。子どもたちは、さらさらやふわふわ、べたべた、ぬるぬるなどたくさん見たり触ったりしましたよ。初めて見たり触ったりする物にも、興味津々でそれぞれの楽しみ方を見つけていました。



おしらせ

2歳児クラスになると、コットベットのサイズが変わります。

130 cmタイプ(幅 54×長さ 131×高さ 12.5 cm)になります。

お手数をおかけしますが、シーツの準備よろしくお祈りします。

この1年を通して、子どもたちはできることがたくさん増えました！残り1カ月となりましたが、子どもたちと毎日笑顔で楽しく過ごしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

